

# とみちゃんの 協働通信 Vol.6

～講座を通して、とみちゃんが協働を学びます～

**3月19日開催 参加者86名!**

**第6回**

**協働のまちづくり講座**

**「協働を推進するための  
地域におけるネットワーク」**



全6回の協働のまちづくり講座も今回で最終回! 今回のテーマは「協働を推進するための地域におけるネットワーク」ということで、①今までの「総まとめ」②修了証授与式③参加者交流会の3本立てで行ったよ。「総まとめ」では、参加者からの質問や事例を交えながら関谷先生・中村さんからアドバイスをいただき、参加者交流会では、参加者同士の自己紹介や活動紹介などで顔が見える関係となり、地域でのネットワークづくりの可能性が見えてきたね。

## 【①総まとめの様子】

若者はまちづくりに無関心とは言い切れず、若者が入っていける場がないことが問題。若者が参加しやすい入り口を作っておくことが大切である。

個人情報は本人の意思に反して勝手に出回ることが問題。行政は個人情報保護法の縛りがあるが、地域住民同士なら同意があれば集めることはできる。目的以外に利用しないことを根拠よく説明し、相手に理解してもらうことが大切。

組織をがちり作り上げてしまうことで、逆に柔軟に対応することができないことがある。地域での負担増えたと捉えられ、失敗した事例もあるので、ゆるやかに横に繋がるのがポイント。

地域で連携するために「学校区でまちづくり協議会の設立を進めている。

- ・個人情報保護が地域づくりの障害となっている。
- ・若い人にまちづくりに参加してもらうために、まちづくりにスポーツを取り入れては?

## 【②修了証授与式の様子】



【③参加者交流会の様子】



最後は協働のまちづくりのポイントをあらうしゅう！  
関谷先生、中村さん、協働についてご教授  
いただきましたのがとてもよかったです。



発行・問い合わせ  
市民活動推進課  
93-1117

### ①地域の課題を把握し、皆で共有

地域でどのようなことが課題となっているか知らなければ課題の解決は難しい。まずは課題を知ることから始めよう。そして、多くの人が問題意識を持つことが課題解決の第一歩。

### ②団体・分野・世代…あらゆる壁を越えて、話し合える場（共通の土俵）の創出

異質なものが多様に交わることで協働の可能性は広がり、自分では解決できない課題も、他者と連携することで解決できることもある。誰でも参加できるように入口をたくさん作ることが大事。

### ③「他人ごと」から「自分のこと」へ

協働を妨げる一番の要因が「自分には関係ない」という気持ち。地域の問題は自分の問題としてとらえ、自分にできることをしよう。

### ④行政がどれだけ協働に理解を示すか

市民活動推進課だけでなく、市役所全体として、また、職員一人一人が協働を意識していかなければならない。